

平成30年度春期 システム監査技術者 午後I試験 解答速報

(株) アイテック IT人材教育研究部 2018.4.18 発表

問1 システムの投資対効果の検証制度を対象とした監査

【解答例】

[設問1]

システムオーナーが投資対効果について責任をもつ部署になっているかを確認する。

[設問2]

(i) 既存システムからの移行費用

(ii) ステージゲート導入計画書を査閲し、費用項目の網羅性の確認手順が明記されているかを確認する。

[設問3]

各ゲートでの審査の観点が明記された判定基準が存在すること

[設問4]

ゲート5の審査時期が明確になっており、実際に審査計画が策定されていること

[設問5]

投資対効果を適切に検証し、有効な指摘を行うスキルがあること

問2 データ分析システムの監査

【解答例】

[設問1]

詳細なデータ項目を収集することで本番サーバに負荷がかかりシステム利用に悪影響を及ぼす。

[設問2]

個人情報保護方針が策定されておりデータ利用申請書がそれに合致しているか確認する。

[設問3]

必要以上の高い可用性を求めることによりシステム運用管理の費用や効率が悪化する。

[設問4]

活用検討会の議事録を閲覽し各利用部門のデータ分析システムの利用状況を調べ、成果が出ているか確認する。

[設問5]

会議開催実績表を査閲し、1人当たりの会議時間や情報共有の会議の状況を確認する。

問3 販売管理システムの監査

【解答例】

[設問1]

新しい販売管理システムでの受注内容の自動チェック

[設問2]

(1) b : EDI 取引契約書

c : 要件定義書

(2) 受発注が成立する条件が自動チェックの要件と整合がとれていること

[設問3]

e : 1件が10万円未満になるように受注を分割されることで高額受注が成立する

f : 取引先ごとに1日当たりの自動承認できる合計受注金額の上限を設定する

[設問4]

出荷完了処理が完了していない出荷未完了データを抽出して出力する機能の有無を確認すること

以上

itec